保育実践(表現遊び)

研究会







８月３日

各園所で「自分なりの表現」を引き出す題材についての実践を行い、様々な子どもの姿（色や形への興味・関心、繰り返し遊ぶ姿等）を写真や制作物を見せ合いながらグループで振り返りました。その後、講師の先生の「表現活動における保育者の関わり方」の講義を聴きました。表現活動の中では、物的環境と共に、活動を認め自信をもたせたり、新しいことへ試行錯誤できる言葉かけをしたりする等、人的環境の大切さを学びました。次の研究会までに、子どもの姿を踏まえた保育者の関わりや、保育者の関わりによる子どもの姿の変容をポイントに実践をしていきます。